

安全データシート

改訂日: 2022年3月10日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
会社名
住所
電話番号

フェノールフタレイン溶液(1%)(滴定用)
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CB5025

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

引火性液体: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2B
生殖細胞変異原性: 区分2
発がん性: 区分1A
生殖毒性: 区分1A
特定標的臓器毒性: 区分3(気道刺激性/麻酔作用)
(単回ばく露)
特定標的臓器毒性: 区分1(肝臓)
(反復ばく露) 区分2(中枢神経系/腸)

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(肝臓)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(中枢神経系/腸)

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること/アースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【救急処置】

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。

【保管】

換気のよい涼しい場所で、容器を密閉して保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

注意書き

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

混合物

別名

フェノールフタレイン-エタノール溶液

化学式

-

化学物質を特定できる一般的な番号

*別表 組成表を参照。

成分及び含有量

*別表 組成表を参照。

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

*別表 組成表を参照。

*別表 組成表を参照。

別表 組成表			
化学名	フェノールフタレイン	エタノール(99.5%)	水
含有量	10g/L(1%)	900mL/L(約86%)	残り
化学式	C ₂₀ H ₁₄ O ₄	C ₂ H ₅ OH	H ₂ O
CAS RN	77-09-8	64-17-5	7732-18-5
官報公示整理番号	(9)-1152	(2)-202	対象外

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師を呼ぶこと。

口をすすぐこと。

吸入: 咳、頭痛、疲労感、し眠

皮膚: 皮膚の乾燥

眼: 発赤、痛み、灼熱感

経口摂取: 灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

安静と医学的な経過観察が必要。

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、対アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。

極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

消火後再び発火するおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されているときは、移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

全ての着火源を取り除く。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

屋内の場合、換気をよくして、蒸気の吸入を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収・中和: 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学廃棄物容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材: 危険でなければ漏れを止める。

二次災害防止策: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

接触回避 衛生対策	換気のよい区域でのみ使用すること。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 皮膚と接触しないこと。 眼に入れないこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保管 安全な保管条件	保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。 ガラス
安全な容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	TLV-STEL 1000ppm(エタノール)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置の密閉化又は防爆タイプの局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具を着用すること。 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用の保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色澄明
臭い	エタノール臭
融点・凝固点	該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
可燃性	対象外(液体)
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	3.3~19%(エタノール)
引火点	23℃以下と考えられる。(GHS区分2) 17.5℃(推算値)
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	水と混和する。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	59.3mmHg(25℃)(エタノール)
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	常温常圧下で安定。 引火性がある。
危険有害反応可能性	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。(エタノール 高温、火気及び混触危険物質との接触
避けるべき条件	酸化剤
混触危険物質	硫黄化合物、窒素化合物、等
危険有害な分解生成物	
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。(分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし。(分類できない)
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	区分2Bの成分(エタノール)を10%以上含有する為、本製品の分類は区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器: 該当情報なし。(分類できない) 皮膚: 該当情報なし。(分類できない)

生殖細胞変異原性		区分2の成分(フェノールフタレイン)を1.0%以上含有する為、本製品の分類は区分2とした。
発がん性		区分1Aの成分(エタノール)を0.1%以上含有する為、本製品の分類は区分1Aとした。区分2の成分(フェノールフタレイン)を1.0%以上含有するが区分1Aを優先する。
生殖毒性		区分1Aの成分(エタノール)を0.1%以上含有する為、本製品の分類は区分1Aとした。区分1Bの成分(フェノールフタレイン)を0.3%以上含有するが区分1Aを優先する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3の成分(エタノール)を20%以上含有する為、本製品の分類は区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(肝臓)及び2(中枢神経系)の成分(エタノール)を10%以上含有し、区分1(腸)の成分(フェノールフタレイン)を1.0%以上10%未満含有する為、本製品の分類はそれぞれ区分1(肝臓)、区分2(中枢神経系/腸)とした。
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期(急性):	全ての成分が区分外の為、本製品の分類は区分外とした。
	長期(慢性):	全ての成分が区分外の為、本製品の分類は区分外とした。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壌中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		全ての成分物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		1170
品名(国連輸送名)		エタノール溶液
国連分類		クラス3
容器等級		II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		127
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		第二種指定化学物質 [3, 3-ビス(4-ヒドロキシフェニル)-1, 3-ジヒドロイソベンゾフラン-1-オン(別名フェノールフタレイン)](2023年(令和5年)3月31日まで) 指定化学物質に該当しない(2023年(令和5年)4月1日以降)
毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法		毒物及び劇物に該当しない。 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[エタノール] 危険性又は有害性を調査すべき物[エタノール] 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[三・三-ビス(四-ヒドロキシフェニル)-1, 3-ジヒドロイソベンゾフラン-1-オン(別名フェノールフタレイン)] [施行令別表9] (2024年(令和6年4月1日)以降) 危険性又は有害性を調査すべき物[三・三-ビス(四-ヒドロキシフェニル)-1, 3-ジヒドロイソベンゾフラン-1-オン(別名フェノールフタレイン)](2024年(令和6年4月1日)以降) 危険物・引火性の物(施行令別表1) 危険物第4類引火性液体アルコール類(第2条第7項危険物別表第1) 引火性液体類(危規則第3条・危険物告示別表第1) 引火性液体類(施行規則第12条・危険物告示別表第1) 引火性液体類(施行規則第194条・告示別表第1)
消防法 船舶安全法 港則法 航空法		
16. その他の情報		
参考文献		職場の安全サイト(厚労省HP) 16615の化学商品(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。